

# Bauduin Collection

Photograph Collection of Japan in Bakumatsu-Meiji Period

ボードイン・コレクションとは、幕末・明治に西洋医学の指導者として来日したオランダ人のアントニウス・ボードインが、オランダ領事であったその弟アルベルト・ボードインと協力し、日本滞在中に撮影および収集した古写真アルバムです。  
(長崎大学附属図書館所蔵)

ネット上でも閲覧できます。  
日本古写真アルバムボードイン・コレクション  
<http://oldphoto.lb.nagasaki-u.ac.jp/bauduin/>

## 幕末・明治を知る西洋の男たち

4

経済学部教授  
柴多 一雄  
Shibata Kazuo

### 若き日のトーマス・グラバー

トーマス・ブレイク・グラバーは、一八三八年、スウェーデンのアバディーン州で八人兄弟姉妹の五番目として生まれた。ギムナジウム中等教育機関を卒業後、上海に渡り、安政六年(一八五九)九月、二一歳のとき開港後まもなく長崎に到着した。スウェーランド出身の貿易商マッケンジーのもとで二年間ほど働いたのち、独立してグラバー商會を設立し、ジャーディン・マセソン商會などの長崎代理店となった。

当初は茶の再製・輸出などを主に行っていたが、幕末の政治的混乱を背景に艦船や武器類を薩摩藩や長州藩などの諸藩に売り込んで大きな利益をあげ、長崎屈指の貿易商となった。とくに薩摩藩とは深い関係を持ち、五代友厚・森有礼・寺島宗則ら薩摩藩の海外留学生の派遣を助けたりしている。

長崎に来て四年目の文久三年(一八六三)グラバーは長崎湾を見下ろす南山手の丘の上に邸宅を建築した。写真はこの頃撮影されたもので、貿易商として大きな成功をおさめた二五歳頃のグラバーを写している。

慶応元年(一八六五)には、大浦海岸において日本で初めて蒸

気機関車アイアン・デューク号を走らせた。明治元年(一八六八)には佐賀藩との合併で高島炭鉱の開発に着手し、薩摩藩と協力して小菅に日本最初の洋式ドックを建設している。

しかし、内戦の終結によって武器類が売れなくなったりことや諸藩からの資金回収が滞ったことなどからグラバー商會は経営危機に陥り、アルベルト・ボードインが総代理人をつとめるオランダ貿易会社に高島炭鉱を抵当に債務を肩代わりしてもらったが、債務を返済する資金のめどがつかず明治三年に倒産した。

グラバー商會倒産後も、グラバーはオランダ貿易会社と佐賀藩の共同事業となった高島炭鉱の操業に従事していたが、明治政府が外国人の鉱山所有権を法的に禁止して、高島炭鉱が政府に買収されたため明治九年(一八七六)東京に転居した。しかし、その後ふたたび長崎にもどり、後藤象二郎が政府から払い下げられて経営していた高島炭鉱の支配人に就任した。

明治一四年(一八八一)に三菱の岩崎弥太郎が高島炭鉱を買収すると、グラバーも三菱会社に入り、三菱の顧問となった。明治

一九年頃からはふたたび東京に転居し、横浜にあった日本最初のビール工場を買収してジャパン・ブルワリー・カンパニー(現キリンホールディングス)の設立に尽力するなどした。

グラバーは、五代友厚の紹介で日本人女性ツルと結婚し、二人の子供八人、富三郎)をもうけている。明治四一年(一九〇八)には外国人として初めて勲二等旭日重光章を授与され、明治四四年(一九一)東京の自邸で没した。七三歳であった。長崎市の坂本国際墓地に葬られている。

#### 古写真データ

目録番号: 6246  
撮影者: A. F. ボードイン  
アルバム名: ボードインコレクション(2)  
撮影地: 長崎  
年代: 1863  
色彩: モノクロ  
形状: 116x166  
整理番号: 122 42 0  
キーワード: ボードインコレクション



Thomas Blake Glover (1838 ~ 1911)

貿易商として成功をおさめた若き日のグラバー。倒幕派を支援し、大きな利益をあげた。